

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	スポーツ振興事業				
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係	課長名 高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進	施 策 番 号	1 - 5	-
	総 合 計 画 書 (ページ)	43	

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ⁵	保健体育費	目 ¹	保健体育総務費	事業 ³	スポーツ振興事業費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	---------	-----------------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 社会教育課生涯学習係正職員	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 人
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 生涯スポーツに関する事務手続きを行える	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 人
	③ そのために何をしましたか。 学校施設貸し出し業務、及びその他生涯スポーツに関する事務手続き	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 月末月初の処理の回数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	5	6	7	/
	成果指標	②の数値	人	5	6	7	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	回	12	12	12	/	

3 経費	事業費(実績)		円	3,981,181	3,450,196	2,185,304	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	3,981,181	3,450,196	2,185,304	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	3,306,800	4,951,800	3,297,600		
	職員人件費(再任用)	円		0			
	事業費+人件費	円	7,287,981	8,401,996	5,482,904		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 社会教育法に基づき、すべての市民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成することを目的とする(社会教育法第3条)
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 なし

仕 事 の 内 容	スポーツ振興事業					
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係	課長名	高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特に当課の生涯スポーツ庶務についての意見はなかった。					

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 庶務については、市民協働を含む事業を円滑に執行するための一般事務をさすため、この業務そのものでは協働の形態をとる必要はない。					

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 生涯スポーツに関する手続き等の事務作業を滞りなく進めること					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 事業の担当を交代しつつ、朝の打合せや回覧で情報共有を図った。					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 職員の異動で知識や経験が途切れないようにする。					

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 年度ごとに担当を交代しながら、事務の継続を図る。					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 大きな事業はできるだけ複数の担当をおき、経験者と未経験者が組めるようにする。					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。				経費	仕事の経費は維持する。